

入域観光客統計概況

—平成20年2月分—

2月の入域観光客数は、483,800人。前年同月比は+3.9%(+18,200人)で、同月としては過去最高の記録となった。

平成19年4月～平成20年2月の入域観光客数の累計は、5,328,600人。前年度同期比は+3.5%、181,200人の増加となり、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	467,600人	前年同月比	+12,000人	(+2.6%)
外国	16,200人	前年同月比	+6,200人	(+62.0%)
合計	483,800人	前年同月比	+18,200人	(+3.9%)

2. 主要航路別入域状況

東京	227,700人	前年同月比	+16,900人	(+8.0%)	構成比	47.1%
関西方面	85,700人	前年同月比	+3,200人	(+3.9%)	構成比	17.7%
福岡方面	58,300人	前年同月比	+300人	(+0.5%)	構成比	12.1%
名古屋	45,800人	前年同月比	+5,100人	(+12.5%)	構成比	9.5%

3. 概況と見通し

国内客については、うるう年のため1日分入域観光客数が多かったことや、航空会社の値下げや増便があったため、前年実績を上回った。

外国客については、香港からのクルーズ船の寄港、アジア各地からの航空チャーター便があったことや、韓国からの航空会社の増便があったため、前年実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、4月からの航空運賃値上げや円高による海外との競合などが懸念されるものの、比較的好調に集客している方面が多いことから、堅調に推移するものと見込まれる。

外国客については、クルーズ船の寄港が増えることに加え、4月から香港からの定期便が就航するため、順調に推移するものと見込まれる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
琉球海炎祭 2008 ～日本で一番早い夏の大火火～	期日：平成20年4月12日(土) 場所：宜野湾海浜公園・トロピカルビーチ 内容：音楽に合わせて約10,000発もの花火が夜空を彩る。今回は5周年特別企画として、相武紗季さんによるカウントダウン、華道家・假屋崎省吾氏のいけ花を再現した花火や、花火をバックにテノール歌手・新垣勉氏による歌のステージ、エイサーと高知のよさこい踊りのコラボレーションなど、見所満載。 主催：琉球海炎祭実行委員会 来場予定者数：10万5千人
2008 Ishigaki BG Triathlon World Cup & 2008 石垣島トライアスロン大会	期日：平成20年4月13日(日) 出場予定者数：1,460名 大会概要：石垣島で開催される、日本のトライアスロンシーズンの幕開けとなる大会。国内外のトップアスリートたちが、世界選手権やオリンピックへの出場資格を賭けて挑戦する、ITU(国際トライアスロン連合)公認のワールドカップ部門と一般部門が、午前午後に分けて開催される。 主催：「2008 Ishigaki BG Triathlon World Cup & 2008 石垣島トライアスロン大会」組織委員会
海びらき	3月22日(土)の「あざまサンサンビーチ海開き」を皮切りに、沖縄各地で3月下旬から4月にかけて、海びらきが各地で行われる。

担当：観光企画課 三和(みわ)

TEL 098-866-2763

FAX 098-866-2767

(財)沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント(要旨)

1. 国内

東京事務所(関東地区)

- 航空会社の増便、運賃割引があったことなどにより、前年実績を上回った。また、11月に札幌ー那覇直行便が運休したことに伴い、北海道からの旅客が東京経由で来沖するようになっている。
- 4月は、航空運賃の上昇にもかかわらずほぼ前年並みの予約状況となっている。

大阪事務所(関西地区)

- 航空会社の機材小型化に伴う提供座席数の減少の影響があったものの、引き続き旅行会社の企画商品が好調であったことなどにより、前年実績を上回った。
- 春休みに入り、卒業旅行などのグループ商品が好調なため、堅調に推移するものと見込まれる。

福岡案内所(福岡地区)

- 航空会社の機材小型化に伴う提供座席数の減少などにより、グループ・団体旅行商品を中心に動きがよくなかった。
- 引き続き、グループ・団体旅行向けの航空機の座席確保がしにくい状況が続くと見込まれ、送客増は厳しい。

名古屋情報センター(名古屋地区)

- 日本航空の増便に伴う提供座席数の増加や中日ドラゴンズのキャンプ観戦需要などにより、前年実績を上回った。
- 旅行会社の企画商品が好調なため、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台北事務所(台湾)

- 3月の総統選挙や物価の急激な値上がりによる影響で消費者の旅行マインドが低下したため、本来は送客が増加する旧正月に伸び悩み、前年をわずかに下回った。
- 3月末からスタークルーズ社のクルーズ船の定期運航が開始予定であるため、海路客は好調に推移するものと見込まれるが、空路については、燃料の高騰に伴う航空運賃の値上げの影響が懸念される。

韓国事務所(韓国)

- アシアナ航空の増便や大韓航空のチャーター便運航があったことや、インセンティブツアーの増加に加え、韓国プロ野球3球団のキャンプやそのファンツアーがあったことにより、大幅に前年実績を上回った。
- 3月からはアシアナ航空の減便があり、また、航空燃料高騰や韓国国内の景気沈滞により、大幅な送客増は期待できない。

上海事務所(中国本土)

- 団体ツアーなどがあったことから、前年実績を上回った。
- 3月は団体ツアーがあり、また、3月末に上海で行われる旅行博覧会にOCVBが出展するため、4月以降もツアー商品造成が促進され、好調に推移するものと見込まれる。

香港事務所(香港)

- 2月は、チャーター便の運航があったことや、クルーズ船「ラプソディー・オブ・ザ・シーズ号」の寄港があったことなどにより、前年実績を大きく上回った。
- 3月は、チャーター便の運航やクルーズ船「ラプソディー・オブ・ザ・シーズ号」の寄港があり、また、4月からは香港エクスプレス航空の定期便が就航するため、大幅な送客増が見込まれる。

第2表 航路別入域観光客数

区分	総数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	
		東京	伊丹	関西	神戸	福岡	名古屋	札幌	鹿児島	北九州	仙台	福島	新潟	富山	小松	岡山	広島	高松	松山	高知	長崎	熊本	大分	宮崎	その他	外国
20年2月	483,800	227,700	18,800	43,900	23,000	55,900	45,800	0	9,800	2,400	6,200	2,700	2,600	0	3,200	3,200	6,400	4,100	1,500	800	2,600	3,800	0	2,900	300	16,200
19年2月	465,600	210,800	23,100	38,600	20,800	55,600	40,700	7,700	10,600	2,400	8,000	2,600	2,800	0	3,300	3,400	6,300	4,200	1,700	900	2,300	3,800	2,000	2,400	1,600	10,000
増減数	18,200	16,900	△4,300	5,300	2,200	300	5,100	△7,700	△800	0	△1,800	100	△200	0	△100	△200	100	△100	△200	△100	300	0	△2,000	500	△1,300	6,200
前年 同月比	103.9	108.0	81.4	113.7	110.6	100.5	112.5	0.0	92.5	100.0	77.5	103.8	92.9	0.0	97.0	94.1	101.6	97.6	88.2	88.9	113.0	100.0	0.0	120.8	18.8	162.0
20年2月 構成比	100.0	47.1	3.9	9.1	4.8	11.6	9.5	0.0	2.0	0.5	1.3	0.6	0.5	0.0	0.7	0.7	1.3	0.8	0.3	0.2	0.5	0.8	0.0	0.6	0.1	3.3
今年度	5,328,600	2,489,800	247,400	476,800	278,800	583,200	458,500	29,000	125,800	29,100	63,000	29,800	19,100	0	37,000	42,500	71,400	38,700	17,500	9,900	24,800	44,200	7,200	29,000	300	175,800
前年度	5,147,400	2,371,100	289,200	473,500	230,300	584,800	437,300	60,700	137,100	28,300	65,300	30,700	20,700	100	39,300	39,000	66,500	39,100	18,100	11,100	23,600	41,400	22,600	26,000	1,600	90,000
増減数	181,200	118,700	△41,800	3,300	48,500	△1,600	21,200	△31,700	△11,300	29,100	△2,300	△900	△1,600	△100	△2,300	3,500	4,900	△400	△600	△1,200	1,200	2,800	△15,400	3,000	△1,300	85,800
前年度 同期比	103.5	105.0	85.5	100.7	121.1	99.7	104.8	47.8	91.8	102.8	96.5	97.1	92.3	0.0	94.1	109.0	107.4	99.0	96.7	89.2	105.1	106.8	31.9	111.5	18.8	195.3
今年度 構成比	100.0	46.7	4.6	8.9	5.2	10.9	8.6	0.5	2.4	0.5	1.2	0.6	0.4	0.0	0.7	0.8	1.3	0.7	0.3	0.2	0.5	0.8	0.1	0.5	0.0	3.3
今年	918,500	436,000	36,200	83,400	44,500	102,900	87,300	0	20,300	4,600	13,000	5,000	4,800	0	5,800	6,400	12,500	7,500	2,900	1,700	4,800	8,100	0	5,400	300	25,100
前年	901,400	407,800	46,400	74,500	41,200	105,500	80,400	15,700	22,000	4,600	15,100	5,100	5,100	0	6,100	6,500	12,600	7,500	3,200	1,600	4,600	8,300	3,900	5,000	1,600	17,100
増減数	17,100	28,200	△10,200	8,900	3,300	△2,600	6,900	△15,700	△1,700	4,600	△2,100	△100	△300	0	△300	△100	△100	0	△300	100	200	△200	△3,900	400	△1,300	8,000
前年 同期比	101.9	106.9	78.0	111.9	108.0	97.5	108.6	0.0	92.3	100.0	86.1	98.0	94.1	0.0	95.1	98.5	99.2	100.0	90.6	106.3	104.3	97.6	0.0	108.0	18.8	146.8
今年 構成比	100.0	47.5	3.9	9.1	4.8	11.2	9.5	0.0	2.2	0.5	1.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.7	1.4	0.8	0.3	0.2	0.5	0.9	0.0	0.6	0.0	2.7

注1 国内客には、沖縄県居住者は含まない。本土経由で来県する外国客を含む。

2 推計方法は、国内航路については、本土と本県間に航路を有する航空及び船舶各社の航路別旅客輸送実績に同航路における入域観光客の混在率(ポンピング調査)をデフレクターとして算出した。

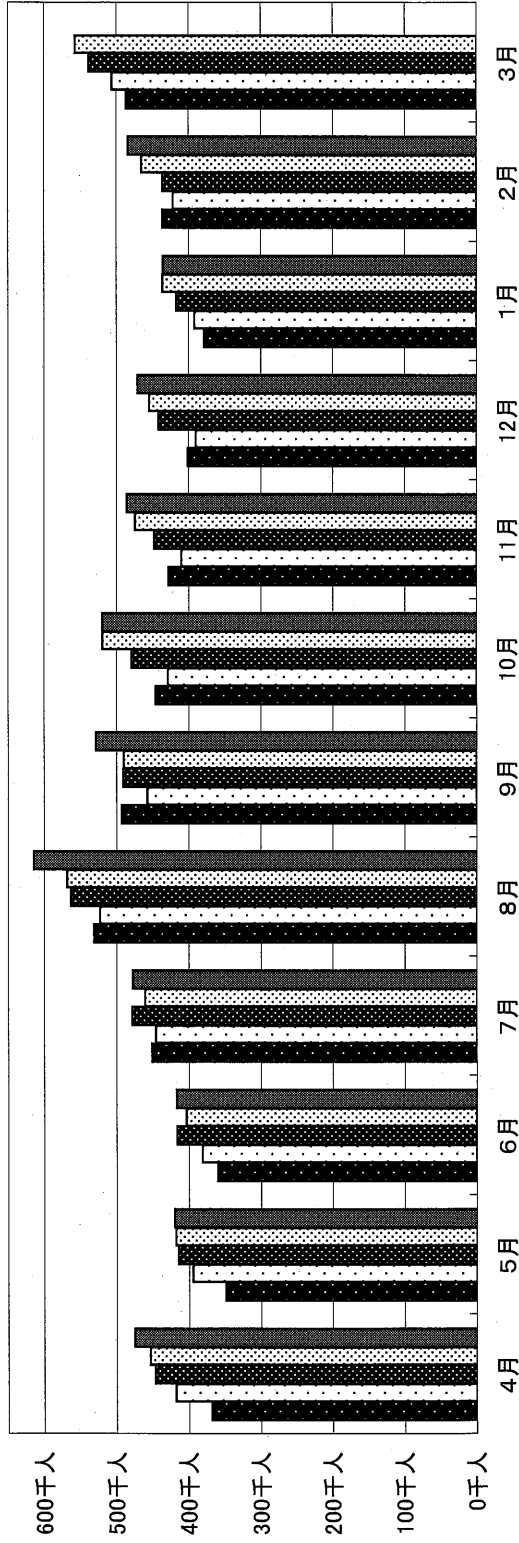
また、外国人については福岡入国管理局那覇支局の資料に基づき沖縄県が推計。(法務省の確報等に基づき遡って修正することがある。)

月別入域観光客数の推移(平成15年度～平成19年度)

(単位:人、%)

	実 数						前 年 度 比													
	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		15年度/14年度		16年度/15年度		17年度/16年度		18年度/17年度		19年度/18年度	
	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計
4月	368,000	368,000	418,500	418,500	446,600	446,600	453,400	453,400	475,300	475,300	Δ3.2	Δ3.2	13.7	13.7	6.7	6.7	1.5	1.5	4.8	4.8
5月	348,700	716,700	395,000	813,500	414,400	861,000	417,900	871,300	420,400	895,700	Δ0.9	Δ0.9	13.3	13.5	4.9	5.8	0.8	1.2	0.6	2.8
6月	360,200	1,076,900	381,200	1,194,700	416,700	1,277,700	404,300	1,275,600	417,200	1,312,900	Δ1.7	Δ1.2	5.8	10.9	9.3	6.9	Δ3.0	Δ0.2	3.2	2.9
7月	451,300	1,528,200	445,400	1,640,100	478,700	1,756,400	461,300	1,736,900	477,600	1,790,500	13.8	2.8	Δ1.3	7.3	7.5	7.1	Δ3.6	Δ1.1	3.5	3.1
8月	531,600	2,059,800	523,400	2,163,500	563,600	2,320,000	569,200	2,306,100	614,200	2,404,700	5.1	3.4	Δ1.5	5.0	7.7	7.2	1.0	Δ0.6	7.9	4.3
9月	493,000	2,552,800	457,800	2,621,300	491,400	2,811,400	490,400	2,796,500	528,400	2,933,100	11.0	4.8	Δ7.1	2.7	7.3	7.3	Δ0.2	Δ0.5	7.7	4.9
10月	445,500	2,998,300	429,200	3,050,500	479,900	3,291,300	519,900	3,316,400	519,700	3,452,800	11.7	5.8	Δ3.7	1.7	11.8	7.9	8.3	0.8	0.0	4.1
11月	428,100	3,426,400	409,900	3,460,400	447,200	3,738,500	474,500	3,790,900	486,300	3,939,100	8.5	6.1	Δ4.3	1.0	9.1	8.0	6.1	1.4	2.5	3.9
12月	401,300	3,827,700	390,800	3,851,200	441,200	4,179,700	455,100	4,246,000	471,000	4,410,100	Δ2.7	5.1	Δ2.6	0.6	12.9	8.5	3.2	1.6	3.5	3.9
1月	379,200	4,206,900	392,400	4,243,600	417,300	4,597,000	435,800	4,681,800	434,700	4,844,800	Δ0.2	4.6	3.5	0.9	6.3	8.3	4.4	1.8	Δ0.3	3.5
2月	436,300	4,643,200	421,300	4,664,900	435,600	5,032,600	465,600	5,147,400	483,800	5,328,600	9.2	5.0	Δ3.4	0.5	3.4	7.9	6.9	2.3	3.9	3.5
3月	486,500	5,129,700	506,700	5,171,600	538,900	5,571,500	557,700	5,705,100			1.8	4.7	4.2	0.8	6.4	7.7	3.5	2.4		
計	5,129,700	5,129,700	5,171,600	5,171,600	5,571,500	5,571,500	5,705,100	5,705,100	5,328,600	5,328,600	-	4.7	-	0.8	-	7.7	-	2.6		

月別入域観光客数の推移
(平成15年度～平成19年度)



■平成15年度 □平成16年度 ▨平成17年度 ▩平成18年度 ▪平成19年度

(単位:千人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成15年度	368.0	348.7	360.2	451.3	531.6	493.0	445.5	428.1	401.3	379.2	436.3	486.5	5,129.7
平成16年度	418.5	395.0	381.2	445.4	523.4	457.8	429.2	409.9	390.8	392.4	421.3	506.7	5,171.6
平成17年度	446.6	414.4	416.7	478.7	563.6	491.4	479.9	447.2	441.2	417.3	435.6	538.9	5,571.5
平成18年度	453.4	417.9	404.3	461.3	569.2	490.4	519.9	474.5	455.1	435.8	465.6	557.7	5,705.1
平成19年度	475.3	420.4	417.2	477.6	614.2	528.4	519.7	486.3	471.0	434.7	483.8		